

# 東高 国際だより

平成30年11月12日  
京都府立東舞鶴高等学校  
国際教育部発行

2018 vol. 7

## 英国ポーツマス市青少年訪問団来校（10月19日）

舞鶴市と姉妹都市のポーツマス市よりメイフィールド校の中等部生徒4名と教員2名が来校し、交流しました。まず、2年国際文化コースの生徒が異文化理解の授業で訪問団を英語の歌で歓迎し、訪問団の生徒がイギリス、ポーツマス、学校、家族などについてプレゼンし、その後のグループ活動では、東高や舞鶴の紹介をしたり、イギリスについて質問をしたりしました。

次のLHRの時間では、1年4組の生徒が日本の伝統的な文化、例えば着付け、福笑い、剣玉、羽子板、折り鶴、だるま落としを紹介する活動をしました。



放課後は、書道部による書道体験やESSによるキャンパス案内をしました。



## 3年国際文化コース 秋の収穫祭（10月24日）

この秋に稲刈りをした古代米「朝紫」を使って収穫祭を実施しました。3年国際文化コースの生徒達は朝紫の精米を炊きあげ、各班で思い思いのおかずを調理し、収穫物への感謝の気持ちを表したあと、おいしく頂きました。朝紫は炊きあがると、ほんのりと淡い紫色に染まり、独特の色合いとなります。

【生徒の感想】3年4組 谷田 朋加

初めて朝紫をいただきました。朝紫はとぎ汁も紫色で驚きました。炊きあがった時の香りがとても良く、食べたときもちもちで、お米の甘みを感じました。私達のご飯がメインになるように、おかずはできる限り抑えたので、ご飯をたくさん食べられました。お餅も朝紫の美味しい甘みが濃縮されていて、いつも食べるお餅よりおいしかったです。本当に感謝しています。母も喜んでいました。卒業後、一人暮らしになった時、新米の時期に朝紫を思い出すことと思います。



## PTA主催文化講演会 ダニエル・カール氏 「国際社会に生きる若者のあり方」 (10月30日)

元英語指導主事、現在実業家でありタレントのダニエル・カールさんの講演会を聴きました。流暢な山形弁を話すことでも有名な方です。

ダニエルさんは日本人が意識していない日本語の特徴を知って外国人とのコミュニケーションに臨んでほしい、とアドバイスをされました。特に「省略」と「謙譲語」はそのまま外国語に置き換えると通じないことが多いため、相手の身になって情報を補って話す大切さを話されました。



## ハロウィン・イベント (11月1日)

生徒が英語の先生に対して、「Trick or Treat?」というフレーズに続いて、「where, when, who, what」などの疑問詞を使って積極的に質問をすれば、キャンディーがもらえる取組をしました。

今回はAETの先生がETに仮装してハロウィンを大いに盛り上げてくれました。



## 東高先生の Another Sky 6回目 リーバイ・ビロリア先生（英語科）

Aloha, my name is Levi Vioria. I hail from Honolulu, Hawai'i in the USA. Travel has become a huge part of my life in the last few years. Ever since I was a child, I have always wanted to travel. Of course I love my home in Hawai'i. We have beautiful mountains and beaches and some of the warmest people you will ever meet. At the same time, living on an island can feel restrictive. I would play on the beach as a child, often wondering where the sun was going as it sets over the watery horizon.

I became an ESL teacher in order to travel the world, learn about other cultures and share my own. In the last few years, I was able to visit several countries in Asia like Thailand, Taiwan, South Korea, Vietnam, Singapore and of course Japan, where I currently live. I've learned about the lifestyles, culture and mentality of the individuals who live there. Living in Japan has taught me about the beauty of refinement and to be more considerate of others. I find it interesting that Japanese people strongly focus more on the group than on any one individual, which often contributes to a safe, clean and peaceful lifestyle.

Ultimately, it's not about the length of time you have. It's about what you choose to do with the time you've got. I've grown more in these two years traveling than if I just stayed in Hawai'i. I hope that my words and photographs open your mind to new ideas and inspire you to travel on your own someday too!

(日本語大意) アロハ!リーバイ・ビロリアです。ハワイ出身です。ここ数年、旅は私の生活の中で大変大きな位置を占めています。もちろん故郷は大好きです。美しい山、浜辺、温かい人々。同時に島の生活は範囲が限られています。子どもの頃よく浜辺で遊びましたが、地平線に沈む太陽はどこに行くのだろうかと思いました。

世界を旅し、他の文化を知り、自分の文化を伝えるために英語の先生になりました。タイ、台湾、韓国、ベトナム、日本などアジア諸国を旅行し、生活様式、文化、人々の考え方を学びました。日本では洗練された美と他者への気遣いを教えられました。日本人の個人よりも集団に重きを置く姿勢は興味深いことです。

最後に、大事なことは時間の長さではなく、その時間を使うために何を選擇するかということです。私は旅をしてこの2年間で成長しました。

私の言葉と写真で皆さんがいつか自分で旅を試してみようと思ってくれたら幸いです。



「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

